



人間国宝
一龍齋貞水

重要無形文化財保持者

「講談は守るべきものと開拓すべきものがある」を座右の銘とする大看板真打。その活動は多岐にわたり、自ら主催する「講談・湯島道場」や寄席の定席をはじめ、自治体主催のホール寄席、ディナッシュ、海外公演、学校公演など幅広い公演活動を精力的に展開。「講談師、夏はお化け、冬は義士で飯を食い」と言われるほど怪談術と忠臣蔵は大切な読み物(演目)。講談師として初の全編読みきり「四谷怪談」全5巻、忠臣蔵、本伝へ全15巻のCD化を実現。また子供向けの「一龍齋貞水の歴史講談」を著作。TV、ラジオなどに多く出演。幅広い層に講談の魅力を発信し続けている。特に怪談に関しては特殊演出効果を駆使した「立体怪談」と、その取り組みが関心と呼び「怪談の貞水」と言われる。

#2 古寺



〔開催日時〕 八月三十日(日)開場 十八時三十分 開演 十九時〜二十時
 〔会場〕 佃島説教所 中央区月島二―二―九※エアコン完備
 〔交通〕 月島駅 七番出口すぐ
 〔料金〕 五千円 百席 予約制



ここは月島、築75年の場の尊厳。浄土真宗 佃島説教所

現在の「築地本願寺」の前身、「築地御坊」再建に至る話である。その昔、浅草近くにあった寺が大火で焼失した折、幕府が示した建替地は八丁堀の海上だった。海を埋め立て、再建に尽力した佃島住民と門徒交流の場、「佃島説教所」は昭和9年に建てられた。今も月に一度の僧侶の法話があり、集会所として利用されるほか、伝統芸能の催しも行われる。創建時の材料そのままの、軋みと歪みと湿度を帯びた木の風合い、黒ずんだ直線で構成された静かな緊張感がある場所。さて、寄席の後に商店街の温泉で一つ風呂浴びて、もんじゃで冷たいビールでも。

〔予約先〕 領域探査デザイン 03-6662-5350 shindo@ryookitansa.com

制作協力/株式会社 影向舎 <http://www.yougou.co.jp/> + 主催/領域探査デザイン <http://www.ryookitansa.com/>

領域探査デザイン 中古スケルトン賃貸普及プロジェクト

廃墟で怪談実行委員会
 照明:内田裕子 映像:marquees+Da/Le(AVSS) Gデザイン:今林せいじ
 記録写真:堀平智子 WEB広報:藤方尊子 企画:新藤典子



駐車場はございません。